

【室内活動】

活動名		GGG（ごうっグループワークゲーム）			
概要	○グループ単位で、協力しながら、与えられた課題解決型ゲームに取り組む。また、ゲーム終了ごとに振り返りを行い、気づきの共有化を行う。				
ねらい	○ゲームを通してコミュニケーション能力を育てる。 ○ゲームを達成することで、仲間がいることの大切さや楽しさに気づく。				
関連教科等	学活・道徳・総合				
指導形態	①自主活動で実施、②職員は活動の説明のみ行う、③職員が指導を行う				
時期	通年	時間帯	日中	対象	中学年～
場所	第1・2研修室、第5研修室、体育館、屋外集会所	人数	～40人程度 (6～10人/1班)	所要時間	2～3時間
準備物	施設で準備できるもの		団体・個人で準備するもの		
	ゲームに必要な道具、バインダー、筆記用具		活動に適した服装、体育館シューズ（体育館で行う場合）		
進め方・展開例					
内容			留意点		
活動前	○打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・物品の受け渡し（準備物参照）			○雨天時プログラムのみは実施不可	
活動の説明	○人間関係づくりゲームをすることを伝える。 （時と場合に応じて臨機応変に、「活動の目的」や、「活動中に意識していくこと」などを伝える）			○活動前に簡単なアイスブレイクゲームを行うとスムーズに活動に入れる。 ○各グループに大人が同行する方が望ましい。 （答えを教えるのではなく励ましたり様子を観察したりするため）	
展 開	○ゲームのすすめ方は以下の流れで行う。 ・ルール説明⇒ゲーム開始⇒振り返り⇒次のゲーム⇒振り返り⇒次のゲーム			○1つのゲームにかかる時間は最大45分くらいがよい。（振り返りを含む）	
	活動名	概 要			
	浅利富士をつくろう	グループで協力しながら、特製マジックハンドを使って木片を積んでいく。			
	ラインナップ	板の上にグループの全員が乗り、指示に従って落ちないように並び替えをする。			
	協力一本橋	4～7mの丸太の上を手をつないで渡りきる。			
	バンブーライン	竹製の短い筒を一人一人が持ってつなげ、目的地まで球を運ぶ。			
	フープリレー	グループ全員で輪になって手をつなぎ、フラフープを1周させる。			
	キャッチボール	ユニボールでキャッチボールをする。キャッチした場所の得点を足し、チームで高得点を目指す。			
	バケツボール	班のみんなでシートの端を持ち、シートをあおりながらボールをバケツの中に入れる。			
	キャッチング・ザ・スティック	リズムに合わせて2本のスティックを打ちつけ、右へ移動していく。			
ポンポンキャッチ	チームで輪になり、ふわふわボールをパスし、ホームに戻す。上達したら個数をふやす。				
※仲間づくりゲームとして、用具の貸し出しもできます。					
まとめ	○全体を通しての振り返りを行い、感想や学んだことなどを皆で共有する。 ○振り返りを通して感じたことを、整理して学びとして定着させる。 ○活動で得た学びは、決してGGGのゲーム時間だけでのものではなく、後の活動や、日常生活でも生かしていくよう促す。				
評価	○ゲーム中や振り返りの時に、自分の意見を発言したり、他者の意見を聞くことができたか。 ○グループの中で、積極的に活動に参加し、達成の喜びを共有できたか。				
発展	○GGGでの学びは、その活動時のみの学びではない。次からの活動や日常生活でも生かしていくよう、団体指導者から随時伝えていくことが大切である。				